【事業名】北潟湖自然再生事業
（福井県あわら市）　【団体名】北潟湖自然再生協議会

令和６年度　生物多様性保全推進支援事業
実績報告書別紙10－６

事業の背景・目的

・北潟湖自然再生事業実施計画において、令和８年度までに達成する目標を「中期目標」として掲げている。この目標の達成を図るなかで、環境教育を柱に、北潟湖周辺での環境的課題である湖の水質問題や希少種保全に取り組み、地域住民等の参画を増やすことで、地域における持続的な自然再生の取組を構築し、地域が抱える社会経済的課題の解決に繋げる。
・令和６年度は、多世代を対象とした自然観察会の実施や外来種駆除などのイベント化により、身近な自然を通して環境問題について考えるきっかけを作ることと、地域住民を交えた関係者で「目指す北潟湖の姿」の具体像を探り、地域と一体となって水質改善に向けた取組を進めることに重点を置いている。

事業の内容

事業①　環境教育と連動した水質改善調査事業
・地元大学研究者を講師に迎え、子どもたちが参加する水質調査イベント・１回
・プラゴミ回収イベント・１回
・水質と水辺環境ワークショップ・全３回、小学生対象・１回×２校
・報告会・１回

事業②　環境教育と連動した希少種保全・再生事業
・地元専門家の講師によるアメリカザリガニ駆除イベント・自然観察会を１回実施
・ミシシッピアカミミガメ駆除イベント、自然観察会・各１回
・ビオトープを約3,200㎡整備、希少種の生息環境を改善
・活動結果検証モニタリング実施

事業③　エコ・グリーンツーリズムにかかる商品開発検討事業
・エコ・グリーンツアーの商品化に向けた取組として、パンフレット及びイベント紹介ちらしを作成。

得られた成果

・これまでの取組により水質改善の検討に必要なデータはある程度揃ってきており、そうした研究成果をもとに、今年度は地域住民、漁業者、研究者、行政関係者等が参加するワークショップを開催し、「目指す北潟湖の姿」の具体像を探った。その後の協議を経て、具体的な取組の方向性を共有することができた。
・本協議会は６名の新規加入者を迎えることができた。一方で、実施者の高齢化の問題を抱えている。負担のない範囲で活動体制を維持していくとともに、ＳＮＳの活用や活動のイベント化等によって活動を周知し、興味を持つ市民や企業等も取り込むことで、自然再生事業の取組体制の拡充を進めていく。
・北潟湖自然再生事業実施計画では中期目標達成後に長期目標の達成に向けて活動を行う計画である。令和７年度以降も活動を継続するべく、関係機関に働きかけて役割分担をより明確にしたり、新たな資金源を模索するなど取り組んでいるところである。